



# 波除小学校

所在地 〒552-0001 港区波除3丁目6番8号

TEL 06-6583-4000

FAX 06-6583-0142

校長名 福永 雅士(ふくなが まさし)



## 学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和27年9月に開校し、今年で創立69年をむかえます。校区は、中央大通りで「波除」と「市岡元町」に分かれていて、どちらの地域も東側(西区と接するところ)に工場が立ち並んでいます。大半が住宅地域です。近年は全校児童数が600人を超え、全学年3学級編成となっています。コロナ禍の影響で今年度も教育活動に多くの制限がかかりましたが、安全で安心のできる学校をめざし、波除小学校の子どもたちの笑顔をやささないよう、教職員と力を合わせて職責を果たしていきたいと考えています。

本校のめざす子ども像である「考える子」「仲のよい子」「やりぬく子」は「知・徳・体」のバランスの取れた子どもの育成をめざす目標であり、教職員、PTA、地域が高い意識を共有して取り組んでいます。子どもたちを常に中心において、保護者の皆様・地域の皆様・教職員が心を寄せ合って教育を進めていきたいと考えております。

日々の教育活動の様子については、学校のホームページで紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

## 運営に関する計画

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を87%以上にする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 【学校の年度目標】

- 学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 校内アンケート調査で、「運動をすることや体を動かして遊ぶことが好き」と肯定的に答える児童の割合を前年度より増加させる。

#### 【全市共通目標】

- 学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、長座体前屈の平均の記録を、令和元年度より1ポイント向上させる。

## 学校・保護者・地域が一体となった特色ある取組み



図書館ボランティア「なみっこ」(読み聞かせ)

木曜の朝の読書タイムに地域の方が来て読み聞かせをさせていただきます。



子どもの安全を守る会

地域やPTAの方が登下校の安全を見守ってくださいます。



昔遊び体験(1・2年生)

地域の方が、昔の遊びを教えてくださいます。



昔の暮らしについて(3年生)

地域の方が、昔の生活について話していただきます。



浴衣体験(5年生)

生涯学習ルームの先生やPTAの皆さんに教えてもらって浴衣を着ます。



茶道体験(6年生)

生涯学習ルームの先生に日本の心を教わります。

※上記は例年の取り組み例です。令和2年度、3年度はコロナ禍のため、中止や変更が生じています。

## ●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

平均正答率 (%)	
国語	算数
55	59

【国語】 平均正答率の全国平均との差は、平成30年度より広がってしまった。領域別にみると「話すこと・聞くこと」の領域では全国平均を下回ったものの、大阪市平均を上回ることができた。また「書くこと」の領域では平成30年度よりも全国平均との差が小さかった。個に応じた指導の充実による成果と考えられる。しかし、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国平均・大阪市平均との差が大きく開き、今後の課題が明らかになった。

【算数】 平均正答率の全国平均との差は、平成30年度より広がってしまった。一人一人のつまずきや課題に即対応できるよう習熟度別少人数授業をはじめ1学級2分割指導やT.T(ティームティーチング)などの学習形態を弾力的に取り入れ、個に応じた指導を進めてきた。また、教員の授業力の向上を目指し、校内での研教科を算数科に設定し、基礎基本の学力の定着、考えを広げていく学習の強化に取り組んでいく。

## ●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.26	18.72	29.93	36.16	45.86	9.45	150.88	23.77	51.40
女子	15.65	18.42	33.55	36.32	39.95	9.54	141.37	14.55	53.34

男子は、ソフトボール投げで大阪市平均・全国平均を、立ち幅とびで大阪市平均を上回ったものの、その他すべての種目で下回った。平成30年度の結果から課題としてきた長座体前屈は平成30年度に比べ差が広がってしまったが、20mシャトルランは差が縮まり、体力合計点の全国平均との差も平成30年度より1.55ポイント縮まり、2.21ポイントとなった。

女子は、50m走、ソフトボール投げで大阪市平均・全国平均を、20mシャトルランで大阪市平均を上回った。また、男子と同様に平成30年度の結果から課題としてきた長座体前屈は平成30年度に比べ差が広がってしまったが、20mシャトルランは差は大幅に縮まった。しかし、体力合計点の全国平均との差は平成30年度より0.25ポイント広がり、2.25ポイントとなった。